

# 市民主体による 自主自立のまちづくり

最終回



## 参加と協働のまちづくりの推進



Q 広報いわみざわ6月号で、「情報共有」「参加」「協働」の3つの基本原則を学んだけど、具体的に何をすればいいの？



A

参加と協働のまちづくりを進めていくために必要な3つの基本原則。具体化していくには、次のように取り組んでいくことが必要です。

### 情報共有

情報の共有は、参加や協働の前提です。

議会および市長等は、まちづくりに関する必要な情報を提供し、市民の皆さんも保有する情報を提供することで、情報の共有化を進め、相互理解と信頼の確保を図りながら、まちづくりを進めていきます。

また、個人や団体など、市民の皆さん同士でも情報交換が必要です。

### 参 加

まちづくりには、より多くの市民の皆さんの参加が必要です。

議会および市長等は、市民の皆さんがまちづくりに参加できる機会の充実に取り組み、参加を推進するための環境づくりや仕組みの整備に努め、施策のさまざまな場面で、多くの市民の皆さんが参加できるよう取り組んでいきます。

なお、参加の方法には、口頭、文書、メール等のほか、時期や内容に応じて実施する市民説明会、アンケート、パブリックコメントなどがあります。

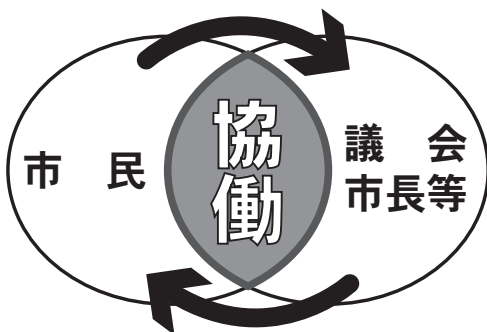
### 協 働

協働は、協力して取り組んだ方が、より大きな成果を生み出していく、あるいは解決に導いていくことが期待される場合に、共通の課題と目的の下で連携して取り組んでいくことです。

協働のまちづくりを進めていくには、それぞれの知識や経験、能力などを活かしていくとともに、目的と情報の共有や多くの市民の皆さんの参加が必要です。

共通の課題を解決するため、それぞれが役割と責務を果たすとともに、相互の立場や自主性を尊重し、情報の共有や信頼関係を築きながら、対等な立場で協働してまちづくりを進めていきます。

### 情報の共有と積極的な参加



### 情報共有と市民参加の推進

人と人との多様なつながりを出発点として、共通の目的の下に協力し、助け合いながら主体的に活動する団体が、この条例でいう「コミュニティ」です。このコミュニティと行政が協働することにより、行政だけでは難しかったきめ細かで柔軟な対応や取り組みが可能になることもあります。

協働のまちづくりを進めていくために、コミュニティ活動は、今後ますます重要なものとなってきますので、コミュニティ活動の果たす役割や重要性を認識するとともに、その活動に積極的に参加しましょう。

まずは、みんなで「情報共有」、そして、まちづくりに積極的に「参加」し、「協働」のまちづくりを進め、住みよい地域社会を築いていきましょう。

問合せ先 市民連携室